

# 世界のお正月

もういくつ寝るとお正月…と楽しみにしている子どもたち。大人も、節目として心を新たにすることができお正月。世界ではどのように過ごしているのでしょうか。外国に住んだことのあるお二人に寄稿いただくとともに、来日されているお二人にお話を伺いました。

## 中国(新疆ウイグル自治区)

ズイフマアさん



西交流センターで行われている日本語教室の生徒、ズイフマアさんにテーマについて伺いました。

3月21日の祝日「ナヴルーズ」は、新しい年を迎える祝日。日本では春分の日です。大勢の市民が広場に集まり、家族や友人とシ

シカバブ(ラム肉の串焼き)やナヴルーシ(米と麦と羊の肉を一緒に煮たもの)の鍋を囲んでイベント(相撲や競馬)を楽しみます。また、家庭では新品の衣装を着て、親しい友だちといろいろなゲームをして、お茶とお菓子で楽しいひと時を過ごします。

日常はウイグル語で会話し、今でも女性はヒジャブというストールのような長い布で頭から肩まで覆って外出する人もおります。

イスラム教の教えにより飲酒は厳禁です。料理には主に羊肉を使用します。(川上 記)

ウイグル語で新年のあいさつをしてみよう!

エンギ イリングズガー ムバーラク ボルスン  
Yéngi yilingizgha mubarek bolsun!  
(新年明けましておめでとうございます)

## セルビア共和国

アナ・ロゴさん



セルビア国のお正月について、セルビア出身のアナ・ロゴさんに伺いました。

お正月はカウントダウンで迎えますが、年代によって過ごし方は違うようで、アナさんのように若者は友達と集まってパーティーをしながら。おばあちゃんや両親は、家でテレビの歌番組(セルビア音楽)などを見ながら迎えます。1日には市主催のコンサートや花火があります。

手がかかり普段はあまり作らない肉料理やキャベツ料理、クッキーを、おばあちゃんが作ってくれるので、パーティーから帰ったあと食べます。日常も肉料理がメインですので、肉、ソーセージ、生ハム、チーズなどは種類が多く、日本ではちょっと少なくてさみしい。日本のお年玉みたいなものはないけれど、父母から

プレゼントをもらいます。

クリスマスは1月7日なので、12月中旬から1月14日までクリスマスツリーが飾られています。

(両角 記)

セルビアの民族衣装!(左がアナさん)ノ



セルビア共和国シャバツ市は、富士見市の姉妹都市です。セルビアの国語は、セルビア語。ロゴさんは、オリンピックのレスリングとハンドボールの事前練習を市の体育館でしてもらうため、セルビアと交渉のお手伝いをしたり、セルビアのアピールをすることを仕事としています。とても日本語が上手です。

セルビア語で新年のあいさつをしてみよう!

スレチュナノヴァ ゴディナ  
Срећна нова година  
(明けましておめでとうございます)

## スペイン王国

岩本 佳子さん

年末31日の夜、スペインの首都マドリードの中央広場であるプエルタ・デル・ソル(太陽の門)にどこからともなく人が集まる。深夜12時近くになると、立錫の余地がないほどになり、近くのバルも一杯になる。広場に面する市役所の時計の鐘が鳴り始めると、12、11、10・・・とカウントダウンが始まり、その都度一粒ずつ青葡萄を口に放り込む。最後のゼロをカウントすると周りは爆竹を破裂させ、ワイン片手にみんな、誰彼なく、おめでとう。これがマドリードっ子のお正月を迎えるワンシーン。

30年も前のことで今はどうなっているかわからないが、年末のクリスマスが近づくと市場にはエビのゆであがったものやお肉、生ハムが山のように積まれ、キロ単位で買い、ワインもみんな買い込み、市場は一年で一番賑やかな時期となる。クリスマスは家族で祝い、新年は友人と祝い、ご馳走を食べるとするのが一般的。



クリスマスが近づくと、町の主だった通りはイルミネーションで輝き、街の目立った所には大きなクリスマスツリーが飾られ、光り輝く。お店もクリスマス商戦一色になる。私たちは、今日はどこ、明日はどこ、と毎夜のようにイルミネーションや飾りつけを見に行った。通りの

スペイン語で新年のあいさつをしてみよう!

フェリス アニョ エエボ  
Feliz año nuevo!  
(明けましておめでとう)

あちらこちらにたくさんのブースが設けられ、ベレンというキリスト生誕のお人形やツリーの飾りつけ、あるいはプレゼント用のアクセサリーとかが賑やかに並べられ、バルでおつまみとワインを飲み、お店で買い物を楽しむ。そしてクリスマスモードは、暮れからお正月を過ぎても終わらず、「東方より三賢人来る」という言い伝えのある1月6日が過ぎるまで、飾り物はそのままだった。1月6日はスペイン版子どもの日で、子どもたちはプレゼントをもらえるこの日を、首を長くして待つのです。



中央広場プエルタ・テル・ソルにて 写真左が岩本さん

タイ語で新年のあいさつをしてみよう!

サワディー ピーマイ クラップ(男性)/カー(女性)  
สวัสดีปีใหม่ ครับ/ค่ะ  
(明けましておめでとう)

## タイ王国

井之川 文子さん



家族で民族衣装を着て

年末年始はカウントダウンのイベントが行われます。チャオプラヤー川沿いや商業施設近くで花火が上がります。お祭り騒ぎになります。住宅地付近でも花火や爆竹や大音量で音楽が鳴り響き、新年を祝います。

私は以前タイのバンコクに住んでいましたが、特に正月料

理はなかったもので、我が家では日本料理店で予約したおせち料理やお雑煮を作り、冷房の効いた部屋で日本の正月を楽しみました。暑い国で過ごす新年はとても不思議な感じでした。

タイの正月は3回あります。年始、中国正月(旧正月)、タイの旧正月(ソクラーン)があります。

なかでも旧正月(ソクラーン)は4月13~15日が祝日になり、この時期のタイは最も暑く38℃以上になります。バンコクで働いている地方出身者は帰省して家族で過ごすことが多いので、この時期のバンコクは閑散とします。街中では「水掛け祭り」が行われます。大きなバケツに水を張り、おけや大型の水鉄砲で水の掛け合いをします。子どもから大人までずぶ濡れになりながら楽しい時間を過ごします。